

### Ⅲ. 調査結果

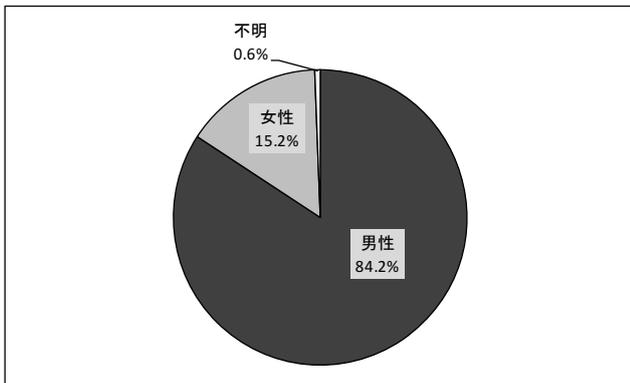
#### (1) 調査対象の属性

##### 1-1 対象者の基本属性

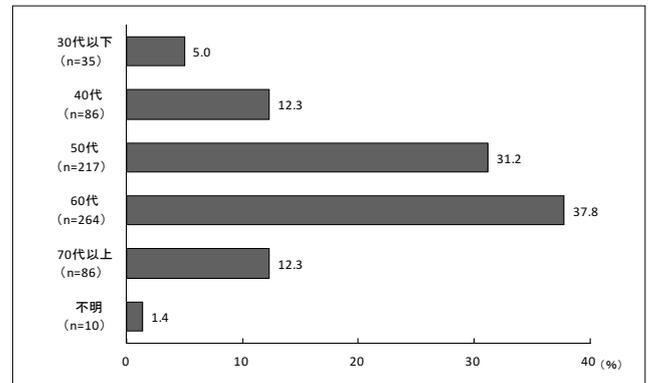
アンケートの回答が得られた指導者（698人）についての属性を以下に示した。

対象者の性別は、「男性」が588人（84.2%）、「女性」が106人（15.2%）と男性が8割以上を占めていた（図1-1）。平均年齢は58.3歳であり、年代の内訳は「60代」が264人（37.8%）と最も多く、次いで「50代」が217人（31.2%）、「40代」「70代以上」86人（12.3%）であった（図1-2）。「30代以下」は35人（5.0%）にとどまり、回答者の年齢層は比較的高い。性別にみると、男性の平均年齢が59.0歳であるのに対し、女性は53.9歳であった（図1-3）。

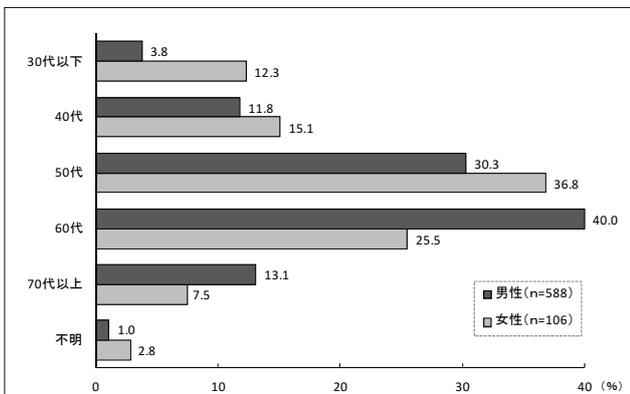
【図1-1】対象者の性別（全体）



【図1-2】対象者の年代（全体）



【図1-3】対象者の年代（性別）



## 1-2 対象者の取得資格状況

対象者の取得資格状況を表 1-1 に示した。「スポーツ少年団認定育成員」が 77.2%と最も多く、およそ 8 割を占める。次いで「ジュニアスポーツ指導員」が 40.7%、「スポーツ少年団認定員」35.7%、「少年スポーツ指導者」26.8%、「体力テスト判定員」26.5%、「競技別指導者」26.2%の順で続く。日本体育協会が主催するスポーツ少年団指導者全国研究大会および、全国各地で開催されたスポーツ少年団認定育成員研修会に参加した指導者を対象としたため、日本体育協会が認定する資格が上位を占めた。

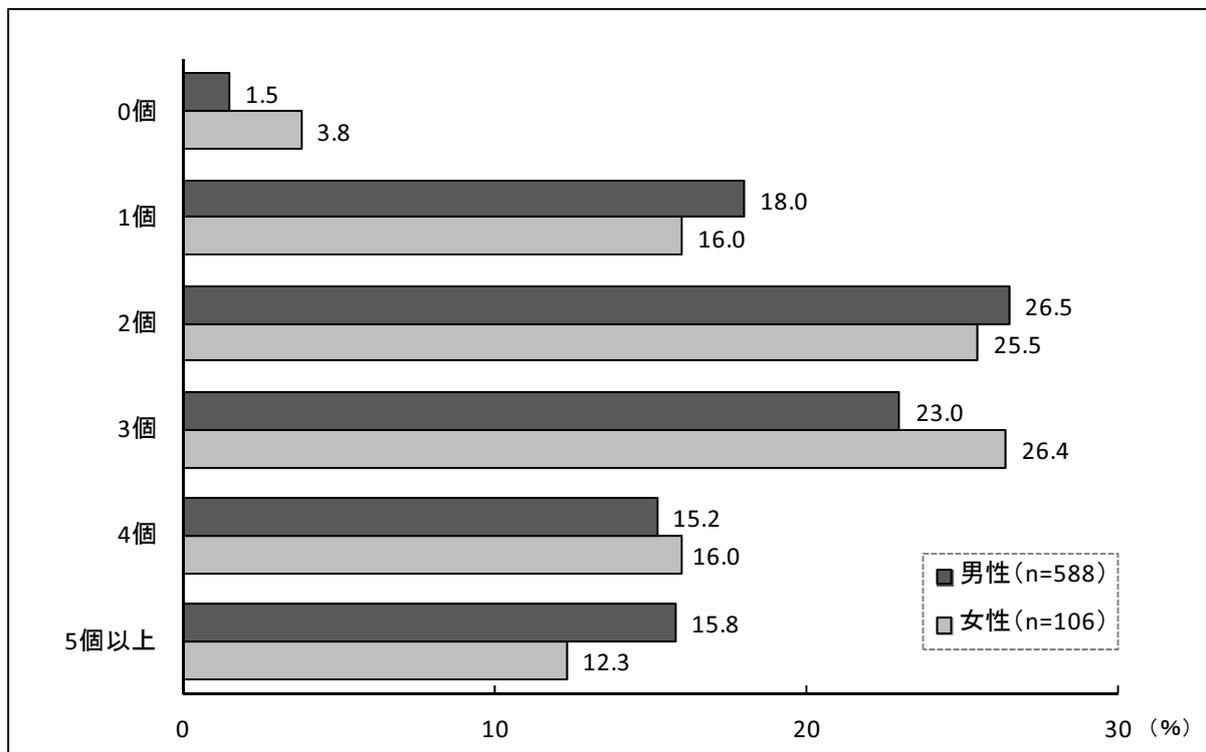
平均取得資格数は 2.9 個であり、1 人あたり約 3 個の資格を取得していた。性別にみると、男性の平均は 2.9 個であるのに対し、女性の平均は 2.7 個であった（図 1-4）。

また、取得資格数を年代別にみると、30 代以下では「0 個」が 11.4%、「1 個」が 42.9%であり、資格を持たない、あるいは 1 つのみという者は 54.3%と半数を占める。一方、70 代以上では「3 個」が 16.3%、「4 個」が 22.1%、「5 個以上」が 24.4%であり、年代が高くなるにつれて取得資格数が増加する傾向にあった（図 1-5）。

【表 1-1】対象者の取得資格状況（全体・性別）

全体 (n=698)			男性 (n=588)			女性 (n=106)		
順位	取得資格	%	順位	取得資格	%	順位	取得資格	%
1	スポーツ少年団認定育成員	77.2	1	スポーツ少年団認定育成員	80.1	1	スポーツ少年団認定育成員	61.3
2	ジュニアスポーツ指導員	40.7	2	ジュニアスポーツ指導員	41.0	2	スポーツ少年団認定員	44.3
3	スポーツ少年団認定員	35.7	3	スポーツ少年団認定員	33.8	3	ジュニアスポーツ指導員	37.7
4	少年スポーツ指導者	26.8	4	少年スポーツ指導者	27.9	4	競技別指導者	29.2
5	体力テスト判定員	26.5	5	競技別指導者	25.9	5	体力テスト判定員	29.2
6	競技別指導者	26.2	6	体力テスト判定員	25.7	6	少年スポーツ指導者	20.8
7	教員免許	17.6	7	教員免許	17.3	7	教員免許	18.9
8	体力テスト指導員	16.6	8	体力テスト指導員	16.8	8	体力テスト指導員	15.1
9	クラブマネージャー	5.6	9	クラブマネージャー	5.8	9	クラブマネージャー	4.7
10	アシスタントマネージャー	3.6	10	スポーツプログラマー	3.6	10	レクリエーションインストラクター	4.7
11	スポーツプログラマー	3.3	11	アシスタントマネージャー	3.6	11	アシスタントマネージャー	3.8
12	レクリエーションインストラクター	2.3	12	レクリエーションコーディネーター	2.0	12	スポーツプログラマー	1.9
13	レクリエーションコーディネーター	1.7	13	レクリエーションインストラクター	1.9	13	競技公認審判員	1.9
14	健康運動指導士	0.6	14	健康運動指導士	0.7			
	上級スポーツ指導者	0.6		上級スポーツ指導者	0.7			
16	日本サッカー協会公認指導者	0.4	16	日本サッカー協会公認指導者	0.5			
	身体障害者スポーツ指導員	0.4						

【図 1-4】対象者の取得資格数（性別）



【図 1-5】対象者の取得資格数（年代別）

